



〒869-12 熊本県菊池郡大津町森54-2 ☎096-293-8100
社会福祉法人 三気の会 三気の里

共生

理事長 田中 稔

今年、異常気象の上に不景気とかで何となく活気の無いさわさわした年であった様に思います。一方、世の中のいろんな所で基本的なものに変化が起きつつある様に思います。これからは地道な本当に意味のあるものだけが残っていくのではないのでしょうか。

三気の会の三気(のん気、こん気、げん気)という言葉は、近藤原理先生の書かれた本の中から頂きました。先生は、長崎県の佐々町で「なずな園」と名付けた自宅に十数人の障害のある人達と三十年暮らしておられます。小さな集団で出来る限り地域の中で、どこから公的援助を受ける事なくやってこられました。大変な事だと思うのですが、正に本物の在り方がある様に思います。

昨年一年間、毎日新聞に連載された「なずな園」での園生の様子や、先生の障害児への考え方が一冊の本になりました。「共生社会をめざして—私の障害者福祉実践小論」(明治図書)です。(学び合って共に生きる)(支え合って共に生きる)(寄り添って共に

生きる)の三部作です。

子供達を見る先生の暖かさ、低さがあります。先生の話によると、「ある福祉の大会で演者がてんかん発作について、てんかん撲滅という言葉をしきりに使っていました。どうも世の中には、「撲滅」とか「克服」とかいう言葉が容易に使う人が多すぎます。障害者は自分の障害と共生し、健常者はまわりの障害者と共生します。この自然だって克服ではなく「共生」してこそ人間は生きられる」と述べておられます。老人医療等と同じ視点が求められているのではないのでしょうか。

この「共生」という事はあるがまま、かわいそうという様な安っぽい同情で放置される事ではありません。「なずな園」でもいろんな障害、いろんなレベルの人達が各々持っている能力一杯に力を出し合って、共同生活を続けています。

療育にあたっている当事者としては、その子の能力が延ばし易い早期に能力一杯延ばせる働きかけが求められます。働きかけを工夫し、やり方を考えれば延ばせるのをそれをしないで行っているのは療育者

としての姿勢を問われます。その一方で、療育の結果たどりついたその子の状況にはそれを受け入れ、その能力一杯に生きていく姿は私達と同じです。この能力一杯延ばす事と障害児者が能力一杯に生きていく姿を受け入れる事とが「共生」という考え方に求められます。

初顔合わせ会のお知らせ

1月3日(月)
AM11:00~PM4:30
三気の里にて
初顔合わせ会を行います。
皆さん遊びに来てみませんか?
待っています。



療育シリーズ

げんこつ

園長 土井尚典

ゆうあいピックのふれあい広場でジュースの自動販売機の前を通りがかった時に、ガタンと音がして振り返ると、中学生ぐらいの子供が自動販売機からオロナミンCを取り出していた。そばにいた二人の背広姿の男性が目を見合わせて苦笑しておられた。とっさに判断して、近寄って「君が買ったの？」と中学生に聞くと二人の男性は「いいです、いいです。」と手を振られていた。話を聞いてみると一人がお金を入れると同時に中学生がボタンを押したそうだと「他のを買いたかったから良いです、さし上げます。」とおっしゃられ、お金を受け取れなかった。本人にも謝らせたいとお礼を言わせた。中学生に「誰と来たの？」とたずねた。「お母さん。」と答えたので、お母さんの所へ行こうといつて歩き出した。

神妙にしていた顔が、歩き出すと笑顔に変わった。「おじさん、おチンチンある？」と突然の質問が来た。「あるよ。」と言ったと

同時に「どこどこ？」と大事なムスコをしっかりとつかまれてしまった。「おまえ、何を考えているんだ。」とボカリと一発げんこつをお見舞いしてムスコの安全を確かめた。

ベンチに私は腰掛けて、本人は前に立たせて自動販売機的一件から、くどくどと説教をはじめた。ひとしきり終わって、「分かったネ。」といって「お母さんの所まで送って行くよ。」と言ったら笑顔が戻って来た。数歩あるくと「おじさん、おチンチンある？」とまた質問が来た。「あるよ。」と答えると「アッ、お母さんだ。」と言って「バイバイ。」と手を振りながら走って行った。お母さんも気がつかれたらしく、こちらに近寄って来られ、「何かご迷惑をかけませんでしたか？」とたずねられた。中学生くん目の視線が気になったので、「二つだけ約束をしましょう。」と答えた。

別れた後、何故「おチンチンある？」と2度も聞いたのだろうと考えてみた。親しみの行動だったのだろうか、それとも笑わせようとしたのだろうか、本当に単純な質問だったのだろうか等である。

私には「私と仲良くなりたい。」ように聞こえた。本人が周りの人とうまくやって行くための適応の一つとして身についたのではないかと思つた。ただ状況判断ができて、知らないおじさんにもやっ

このまま大きくなって同じことをやっている、げんこつでは済まされない。見た目にはおもしろくて、身内では許されることであっても、将来のことを考えて適切な対応が必要だと思つた。





1 班 師 走

何かと忙しい時期、一班の作業も大忙しです。居室と廊下の掃除を食事の前に済ませた民さんとさゆりちゃんは9時15分から作業室に一足早く行って準備をし、ネット折り・パッキンセットの作業を始めます。食後に居室と廊下の掃除をする他のメンバーは、9時45分くらいから作業室の方へ向かい倉庫からそれぞれのカゴや道具を取り出すと、自分の席に座りネット折りやパッキンセット・バリ取り・ネジセットを始めます。洗濯仕分けのメンバーも次々に名前をチェックしてカゴに入れていきます。促されず作業場所に行き準備をし、そして作業を行う。毎日やっていたらできることが当たり前…。確かにそうかもしれませんが、しかし、私達はうれしい。当たり前がうれしい。どんどんみんなが早く作業をしていくと私達はチェックをするのが多くなり、忙しいけれども、この忙しさもうれしい。もっと忙しくなってもいいよ!!みんなでがんばろうね。忘年会の会食とカラオケが楽しみだー。

高橋

2 班 忘年会 (温泉)

木工班の忘年会は温泉でゆっくり楽しむぞ!の予定であったが、今年も風邪で体調の悪い人が多く予定変更、カラオケ大会となってしまった。寝込んで行けなかった希久ちゃんには悪いが、風邪で喉が痛いのも忘れメンバー全員歌いまくったのは言うまでもない。これにアルコールがあればと思ったのは職員だけだったのだろうか。新曲からなつメロとレパトリーも多く歌いまくっていた修ちゃんや仮面ライダーやアニメの曲となると目を輝かせて歌っていたまこちゃん、人が歌うと必ず舞台上に立ち目立っていた真ちゃん、それが気になり舞台より引き戻そうとする悪一坊、踊りのデュエットをした稔君に雄ちゃん、マイクを口の中に入れてしまうのではと思う位大きく口を開けていた新ちゃん、などなど。個性的に歌を歌ってくれたみんな楽しかった事だろうと思います。来年も又仲良く楽しく元気にやっていきましょう。

田之上

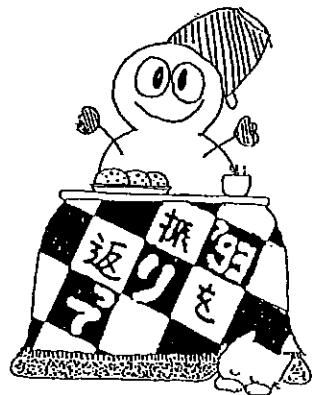
3 班 今年は一足、来年は一足。

月日が過ぎるのは早いもので、もう師走。「暖冬」とは言いながらも三気の里は少しずつ冬模様。3班のみんなは、そんな中でも頑張って作業をしています。

12月4日(土)、「今年も頑張ったね。」と健軍町にある中華料理店「王家亭」にて3班の忘年会を行いました。(年末の忙しい時期にもかかわらず、多数の保護者の方にも参加して頂きました。ありがとうございました。)お座敷のテーブルに9~10人座り、次々と並べられるみごとな料理に舌鼓を打ちながら、思い出話にも花が咲きました。3班のみんなも忘年会が終わる頃には満腹になったようでニコニコ顔がテーブルにそろっていました。

今年が多雨・冷夏などの悪天候が続き日照不足も災いして、花・作物の爽りも例年と比べ、やや寂しいものとなってしまいましたが、来年こそは!!と意気込んでいる我々です。みんな、今年もお疲れ様。来年も頑張ろうね。皆様、来年も3班の野菜・花をよろしくお願い致します。

泉



クリスマスに採用通知が届いてからもう7年経ちます。あの時の感動を忘れないようにこれからも頑張ります。

高橋 千草

今年は、私にとって仕事また私生活において生涯忘れられない大切な年となりました。園で学んだ事、また感じた事をずっと大切にしていきたいなあと思っています。

黒澤 加代子

夏の宿泊レクで与論島へ行き、台風の為一週間帰れなかった事。三気の里、初の一週間宿泊は自信がつかしました。

田之上 健一

年々、日が過ぎ去るのが早くなって来ているような感じがします。(歳かな) まだまだやりたい事はたくさん!! 頑張るぞ!!

坂本 信子

平成5年度施設整備事業として、定員80名の拡張工事に着手し来年4月に開所する事と、心を痛めた事は、下出監事が御逝去なられた事です。また、後援会、保護者会、社会福祉関係各位に大変お世話になりました。

来年も「のん気」・「こん気」・「げん気」を合言葉に頑張ります。

末永 博美

新たなスタートをきった93。何もかも新しく、不安・期待で一杯だった。来年はどんな年になるか楽しみです。

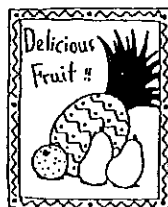
中村 美加

今年も一年本当にいろいろなことがありました。来年も悔いが残らぬよう精一杯頑張りたいです。

高木 道子

皆んなとの楽しい思い出が、年々「増えるアルバム」のように増えていきます。来年も又、増えていくよう頑張りたいと思います。

山中 美津代



1年で、本当に短いものだなあと思います。それで、来年は一日をもっと大切に過ごしたいです。

高津 美和

今年もあつと言う間だった。二年目なのに少しも余裕が持てず、来年こそはしっかりしたいと思つた。

前田 はる美

今年、三気の里への就職、自動車免許獲得と、いい年でした。来年も爽りのある年だと思っています。

村上 知砂

今年も昨年にして一年過ぎるのが早く感じられました。来年は今年以上に、充実した年にしたいと思えます。

金丸 綾子

あつという間の一年でした。健康面に注意して来年も色んな事に頑張っ行って行こうと思えます。

日置 朋子

一年間天候に左右されながらも、ゆうあいピック熊本大会も無事終わり、定員30名増の工事と慌ただしく過ぎ去って行く。職員も結婚する人、結婚の結果を出す人などあり、嬉しいやら困ったやら。

土井 尚典

目標達成の年となった。毎年この時期には、反省する事が多いが、何事も前向きに一歩ずつ前進する大切さを知った。

多田 麻紀

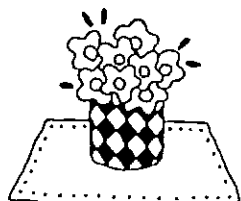
今年も色々な事がありました。出来事に関係なく時は流れて行きました。ただ流されずに信念を持つことの大切さを知った年でした。

田邊 剛政

その瞬間、瞬間はとてつもなく永く、しかし振り返ってみるとほんの瞬間の出来事のような年でした。

石丸 直美

Good FRIEND



93を振り返って



仕事でも私的にも七転び八起き、何とも慌ただしく過ぎていった。だが振り返ると内容は濃く、貴重な一年であった。松下 さゆり

実践キャンプに参加したことで、一回り成長したなあ。と思うと同時に、やる気がわいてきました。 満原 千保

今年も2月に悪い、長い間皆様にご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。来年は健康第一で頑張ります。 東 正実

今年はずっと天候不順で、とにかく野菜の出来が悪かった。来年は多少天候が悪くても収穫できる技術を身につけねば。勉強、勉強。 木下 昭二

Jリーグの流行した年。私のイエローカードも何枚になった事やら。今年も色々あったけど、来年も頑張ろう。 泉 香

三気の里の平成五年度は何かと忙しい年でした。全職員真夏のハウス建設のために三棟分の地上げ基礎工事、組み立てと矢継ぎ早に過ぎた年でした。 砂野 征三

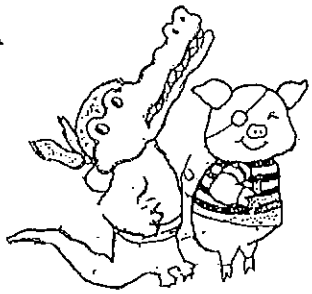
9月に2班の皆と行った与論島旅行が一番のニュース。一週間で汚れたように真っ黒になってしま、今だに黒いまま。来年は白くなるかな。 今村 由紀

今年はずっと来る年を見据えて、忙しさに押し流されんと悩んだ。

明日は、毎日の積み重ねと思う。流されず、自分の足元をしっかり見て、毎日を共に生きたい。

夢多き人生、それが明日のエネルギーだから。 坂井 省英

〈順不同・敬称略〉



☆ ゆみちゃんの日記 ☆

ゆうあいピックに参加して

10月16日、17日(土、日)に、ゆうあいピックがありました。

私は、ゆうあいピックを楽しみにまっています。

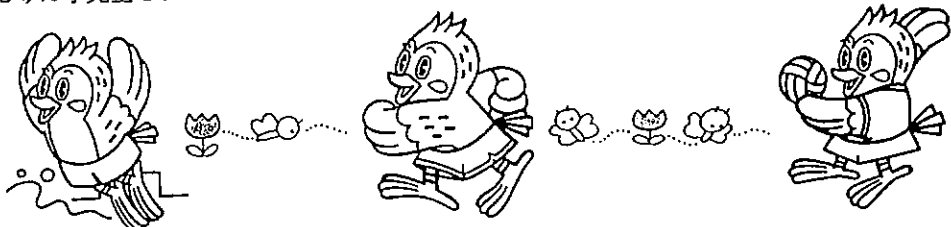
いっぱいの人が集まっています。いっぱいの人のおどりました。

とても楽しかったです。コーヒーをのんだり、ジャムとお茶とちくわもりました。

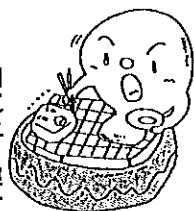
とてもよかったです。おきゃくさんもおどりました。

なんねんもゆうあいピックわすれません。背中いたかったけどがんばりました。

木下じゅん子先生と、ショートカット先生、三気の里へきてください。まっています。



もちつき大会



田之上 健一

もちつき大会は前日の雨で会場となる運動場のコンディションも悪く心配されたのですが、当日は厨房前の駐車場に急遽変更し行いました。今回は森の子供会の皆様各学校からのボランティアの皆様と三気の里園生、保護者の方々とたくさんの人達に参加して頂き、とてもにぎやかな中でできた事はとても嬉しく感じました。お父さん方やお母さん方はさすがに手際もよく、もちをついたり、豚汁を作ったりと協力して頂き、森の子供会のみならず重いさねを振り上げながらついているのか、つかれているのか必死にやっている姿はととても微笑ましいものでした。三気の里の園生もまげじとする人、食べる方が専門と余力を残す人といろいろいましたが絶えず笑いが響き渡る時間でした。

の園生とふれあい協力して頂いたボランティア、森の子供会の皆様有り難うございました。又ぜひ遊びに来て下さい。お待ちしております。



ケリーソン作戦

事務長 末永

12月9日はどんな日かご存じですか。祭日でない事だけは事実です。12月9日「障害者の日」とは、障害者基本法(第六条の二)全文「国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めるため、障害者の日を設ける。国及び地方公共団体は、障害者の日の趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。」



熊本県では有成会が中心となり県全域で「ケリーソン作戦」と銘打って公共施設や一般道路を清掃致しました。当日は、大変良い天気にも恵まれ暖かく、本日に12月なのかなと、思われるような日でした。三気の里もこの行事に参加し、熊本城周辺の落ち葉拾いや、ゴミ及び空きカン等を回収し、美化・清掃に協力しました。参加者は総勢25名(三気の里を代表するような、1班園生と職員)で心地よい汗を流し頑張りました。

当日の夜、民放テレビの県内ニュースで「三気の里」のメンバーを中心に放送されていたようです。私見ではありますが、「障害者の日」と言うタイトルに納得出来ません。……!

＼ さゆりちゃんの日記 ＼

「レクレーションに行ったこと」

12月16日木曜日、今日は朝9時30分にでました。ほんとうは11時にのるはずだったのに、はやくでたのでとてもいそがしかったです。おうかていにいってひるごはんをたべました。あじわわかりませんでした。ひるから、カラオケをしました。5かいか6かいうたいました。



スポーツ

スティーシヨン

〔極寒の久住(番外編)〕

坂井 省英

10・11月に運動として登山を試みた事は、前月号でお知らせしたが、11月下旬に来年の登山の下見と思い、知人と一緒に長者原から雨ヶ池・坊がつる・すがもり越え・長者原というコースで登って来た。来年は変化に富んだコース設定をしよう、なんて思った私の考えの甘かったことを思い知らされたことをお伝えしよう。

朝、大津を出る時は、晴天。知人が、「夕方は雨かな。山で雪に当たらないといいな。」という。山をばかにしていた訳じゃないが、そんな遅くまでなるのだろうか、ふと首をかしげる私だった。登山口についた頃には12時を少々過ぎていただろうか、晴天だった大津のとは異なり、山は急に暗くかげり、雨となる。「運動でも雨でしたから平気ですよ。」と話す、「それは良かった。」知人が答え出発した。

小一時間も歩いただろうか、雨ヶ池を過ぎる頃には、雨もみぞれと変わっていた。次第に心細くなっ

た私は無口になっていった。坊がつるを越えた頃には、小さな雪のかたまりが、私の頬を叩くようになり、その冷たさと痛みで私は、泣きべそ状態だった。だが、ただただ先頭を行く知人をしっかり見据えて、ひたすら歩いていた。知人に教わった通り、ケルン(石の積まれた小山)を頼りに進む。普段、物好きがいるものと馬鹿にしていたケルンを必死にたどり進む、一つ一つ。

ようやく、すがもり峠にたどり着くと、周囲も少々明るく、視界が広がり、ホッとする。休む間もなく、夕陽に追われるように走って下った。

長者原に着いたのは5時を過ぎていたのだろうか。足は棒のようで、無事下山したことでホッとしていたが、しばらく山は見たくないなと思った。

雪が降り続いたため、帰路の心配もあり、やまなみハイウェイをひたすら走り帰った。



食卓堂営業中

12月11日(晴天)、皆の楽しみにしていた餅つき大会がありました。「ヨイショ!ヨイショ!」の掛け声に合わせたお父さん方の強い杵さばき。出来たお餅を手際良く丸めるお母さん方。やっぱりお父さん・お母さんのパワーは違うなと感心してしまいました。皆もそれから森の子供会の皆も杵を持ち「ヨイショ!ヨイショ!」仲

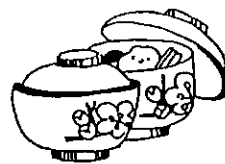
々の手つきで(?)頑張りました。つきたてのお餅は軟らかくてとてもおいしかったです。皆は何個位食べたかな?お母さん方が作ってくれた豚汁もおいしくて、あっという間になくなってしまいました。とても楽しい餅つき大会になりました。

保護者の皆さんお疲れ様でした。 — 栄養の話 —

鶏卵の殻の色の赤と白とは内容はどう違うのでしょうか。

殻の色の違いは、鶏の種類の違いによるもので栄養的には差がある訳ではありません。これは有精卵と無精卵でも同様に言えることです。ちなみに赤い卵が高い値段で売られている場合が多いのは、

白い卵より産卵率が低いからです。 高木



後援会入会云

ありがとうございます

- 梅田隆生 小野勇一 濱之上真先
- 横山政行 田口貴章 財賀真理子
- 内田裕己 清田翔平 阿蘇品駿伸
- 梅田祥太 宮村尚樹 金子絵理香
- 芳川知洋 道上裕佳 森 裕三
- 豊田周平 藤岡成人 澤田信也
- 高森大輔 松本直樹 松田信介
- 野田 剛 井野一平 真東 洋
- 木下祐一 松本頼子 木山和哉
- 山宮 翔 山本和明 川口健吾
- 大石諒子 魚住悠介 相良美貴子
- 後藤冬樹 山本昌央 藤本栄之助
- 松本 了 福岡雅子 原和彦・梨沙
- 大塚和昭 笹原江梨 吉尾覚史
- 市川尚樹 堤 純也 有馬幸雄
- 塚本謙二

十二月二十一日付け

※敬称略

1月の行事予定

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 備考 | |
|---|-----------------------|----|----------|-------------------|----|----|-------------------------------|--|
| 轟こうきくん、かずくん、みのるくん、お誕生日おめでとう。 ☆3日(月)初顔合わせ 祭20日(木)どんどや 11 泰成くん、武彦くん、龍也くん、真一郎くん、成人おめでとう。 | | | | | | | 1 | |
| 2 | 3 初顔合わせ | 4 | 5 帰園日 | 6 | 7 | 8 | | |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 誕生会 成人祝い | 14 | 15 | 成人式 保護者会・帰宅日 轟(の)姓日(21) | |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 どんどや | 21 | 22 | | |
| 23 轟(の)姓日(23) 30 | 24 みのる(の)姓日(24) 31 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | | |



ボランテニア通信

早いもので今年もあと数日となつてしまいました。今年一年、園内清掃・散髪・ブラッシング指導・生け花・作業や行事の参加等に沢山の方がボランテニアに来て下さいました。皆もボランテニアさんが来られるのを楽しみに待っている様で、歯科衛生士の森さんの姿が見えると、ハブラシとコップを持って座って待っていたり、生け花の西村さんが玄関に生けて下さったお花がいつまでもきれいに残っています。

お忙しい中、時間を作ってボランテニアに来て下さった皆様に感謝致します。一年間有り難うございました。
今村

（ボランテニアありがとう）

☆ブラッシング指導 森隆子

☆生け花 西村栄子

☆壁面構成 平田由美

☆作業 古田恵子 橋本和美

有働和美 井口貴子 宮崎直子

右働智富美 東剛智 平田美穂

☆もちつき 和田美佳 橋本和美

住本光代 高島寿枝 江戸凡子

大石健司 西田政博 中村幸子

高本朝美 緒方紀子 古田恵子

有働真美 庄司素生 桐原美和

有働和美 平田美穂 岩根美姫恵

清水由紀子

☆清掃 相良久仁子 園田しずえ

梅田幸子 平島千恵子 宮崎信子

（敬称略）



お礼
 下出様より、足拭きマットを頂きました。ありがとうございます。

編集後記

年の瀬というのは名ばかりと思いつつも、たんぼば編集室はいつもながらの師走の慌ただしさ。例年通り93年を振り返ってみると、それぞれの一年が刻まれている。今年も無事に編集を終らんと、最後の知恵を振り絞っております。来年も迄う御期待！ 坂井

